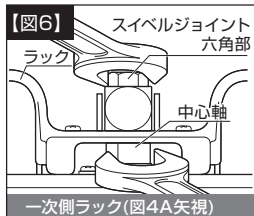


●オプションパーツ接続金具セットについて

※標準仕様と異なったホースを取り付ける場合、専用の接続金具セット(別売)に交換する必要があります。

交換方法



■一次側はラックの下側から中心軸をスパナで固定しスイベルジョイント六角部をスパナで緩め取り外して交換してください。【図6参照】



■二次側は真上から本体出力パイプをスパナで補助・固定を行いジョイント金具を緩め取り外して交換してください。【図7参照】

型 式	一次側(ウレタンホース) スイベルジョイントセット
HJ-21	φ6.5×φ10.0用
HJ-31	φ8.5×φ12.0用
HJ-41	φ10.0×φ14.0用

※1/スイベルジョイント、ホーススプリング、締付ナット各1個セット【図4参照】

型 式	二次側(ウレタンホース) 締付ナットセット
HJ-22	φ6.5×φ10.0用
HJ-32	φ8.5×φ12.0用
HJ-42	φ10.0×φ14.0用

※2/締付ナット、ジョイント金具各1個セット【図5参照】



金具の接続・交換は必ずスパナを使用し、本体側の中心軸を押さえ変形しないように補助・固定を行い作業してください。本体の変形はエアー漏れの原因になりますのでご注意ください。

※接続金具セットのご購入については弊社までお問い合わせください。

【仕 様】

型 式	ホース仕様					取付金具		摘 要	質 量 (kg)
	長 さ (m)	内 径 (mm)	外 径 (mm)	常用圧力 MPa(kgf/cm ²)	材 質	一次側	二次側		
UCS-202	18+2	6.5	10.0	1.5 (15)	編糸補強 1Bブレード入 ポリウレタン	1/4ウレタン プラグカブラ	1/4ウレタン ロータリー ソケットカブラ	—	6.5
UCS-302	28+2								7.0
UCS-302A	28+2							回転台付	8.7
UCS-502	48+2					8.5	12.0	3/8ウレタン プラグカブラ	3/8ウレタン ロータリー ソケットカブラ
UCS-203	18+2	6.9							
UCS-303	28+2	7.5							
UCS-204	18+2	10.0	14.0	1/2ウレタン プラグカブラ	1/2ウレタン ソケットカブラ		7.6		
UCS-0	UCS型リールのみ(内径φ6.5用)					1/4固定ジョイント	1/4固定ジョイント		5.0
UCL-1002	98+2	6.5	10.0	1.5 (15)	編糸補強 1Bブレード入 ポリウレタン	1/4ウレタン プラグカブラ	1/4ウレタンロータリー ソケットカブラ	—	12.1
UCL-503	48+2	8.5	12.0			3/8ウレタン プラグカブラ	3/8ウレタン ロータリー ソケットカブラ		回転台付
UCL-503B									
UCL-304	28+2	10.0	14.0			1/2ウレタン プラグカブラ	1/2ウレタン ソケットカブラ	—	9.6
UCL-504	48+2								
UCL-0	UCL型リールのみ (内径φ8.5用)					3/8固定ジョイント	3/8固定ジョイント		6.1

※仕様は品質向上のため、予告なしに変更する場合があります。

製品に異常が感じられる場合はお買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。

発売元 株式会社 **ハタヤリミテッド** 製造元 株式会社 **畑屋製作所**

顧客サービスデスク フリーダイヤル 0120-686-888 ホームページ <http://www.hataya.jp>

HATAYA

保管用

C025①

ウレタンエアーリール

UCS(UCS-0)型・UCS-A 型・UCL(UCL-0)型・UCL-B 型

取扱説明書

この度は、ウレタンエアーリールをお買い上げいただき誠にありがとうございました。本製品のご使用には必ず本説明書をお読みいただき正しくお使いください。



UCS 型



UCL-B 型

オプションパーツ

●回転台

RA-1(RB-1)型



●接続金具セット

スィベルジョイントセット(一次側)
HJ-21(31・41)型

締付ナットセット(二次側)
HJ-22(32・42)型

【安全上のご注意】

重要

本説明書は製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを以下の通り表示しております。表示の内容をよくご理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



この記号は、禁止行為であることを示しています。



この記号は、行為を強制したり指示する内容を示しています。

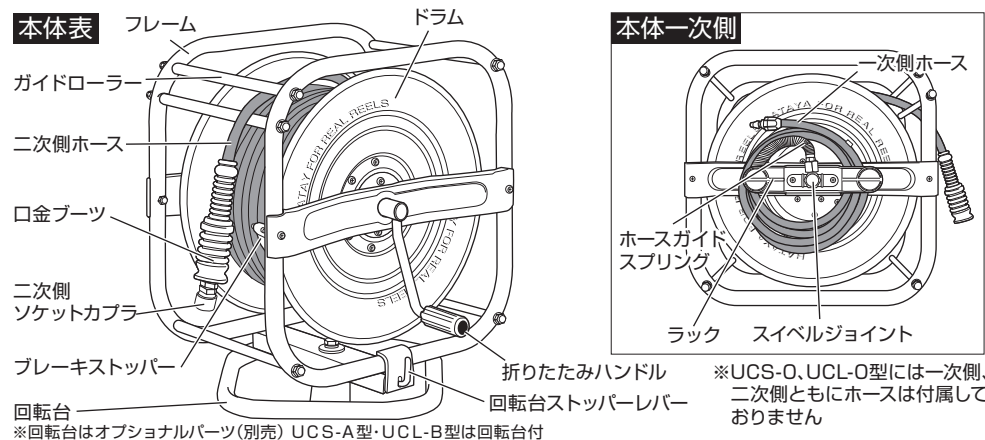
警告

- 本製品はエア専用リールです。ガス・水などその他流体を流さない。故障の原因になります。
- 常用圧力を超えて使わない。1.5MPa(15kgf/cm²)以下故障の原因になります。
- 圧送専用です。負圧用途には使用しない。故障の原因になります。
- 火気・熱源の近くで使用しない。故障の原因になります。
- 流体温度・周囲温度は-10℃～50℃の範囲で使用する。エア漏れの原因になります。
- 粉塵・砂埃・切削屑・溶接火花等がかかる所及び可燃物の近くで使わない。故障の原因になります。
- カブラに接続する時は確実に差し込むこと。エア漏れ・けがの原因になります。

注意

- 本体各接続部・ホースの状態を定期的に点検し、異常があれば交換・修理すること。エア漏れの原因になります。
- 作業時以外は元栓を閉じて保管すること。エア漏れの原因になります。
- ホースの破れ・膨れ・キズがついたまま使わない。エア漏れの原因になります。
- ホースの最小曲げ半径はホース内径の6倍以上で使用し、ねじれ・折れた状態で使わない。けが・故障の原因になります。
- ホースを引っ張らない! 踏まない! 重量物をのせない! エア漏れの原因になります。
- エアホースは油脂・アルコール・溶剤・薬品等に触れさせない。エア漏れの原因になります。
- 落したり、強い衝撃を与えない。故障の原因になります。
- 継手金具はリール・ホースの寸法に合ったものを選定すること。エア漏れ・ホース抜けの原因になります。
- 分解・改造しない。けが・故障の原因になります。
- 圧縮空気中に油分が混入している場合があるので、使用用途には注意すること。
- カブラブーツはホース接続部の破断防止とカブラ保護のため、取り外さないでください。エア漏れ・故障の原因になります。

各部名称

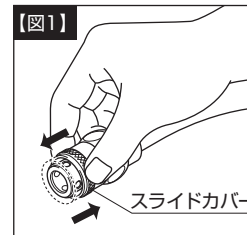


【使用方法】

- ①一次側ホースをエア源に接続してください。
- ②二次側ソケットカブラにエア工具を接続してください。

接続方法

二次側ソケットカブラのスライドカバーを口金ブーツと一緒に手前に引き、工具側プラグをカチッと音がするまで差し込んでください。スライドカバーが動かしにくい場合、口金ブーツを引いてからスライドカバーを引くと作業がスムーズに行えます。【図1参照】



- カブラの接続はカチッと音がするまで確実に行うこと。不確実な場合、エア圧力により抜け・反動を生じる恐れがあり危険です。

- ③工具の取り外しは、工具側のプラグを持ち二次側ソケットカブラのスライドカバーを口金ブーツと一緒に手前に引き、取り外してください。【図1参照】

！

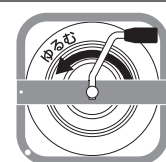
必ず工具側のプラグを持つこと。圧力反動でプラグが勢いよく飛び出し危険です。

●折りたたみハンドルのご使用方法

- ①ドラムを軽く押えハンドルを2～3回左方向(反時計回り)に廻してゆるめます。【図2参照】
- ②ハンドルをゆるめたら、90°に起こし、右方向(時計回り)に廻して締付けます。ハンドルがホース巻取り方向に対してゆるむ事がなく、しっかりと固定できます。【図3参照】
- ③ハンドルを収納する時は逆の手順で行ってください。

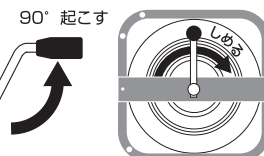
【図2】

ハンドル
収納状態



【図3】

ハンドル
使用状態



【回転台操作方法】 UCS-302A型・UCL-503B型

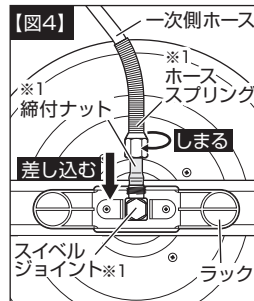
- 回転ストッパーレバーを手前に引き、右または左に回すとストッパーフリー状態になり360度回転します。レバーを中央に戻すと固定されます。
- 回転台はオプションパーツです。本体へ簡単に取り付けが可能です。

型 式	品 名	摘 要	標準価格(円)
RA-1	小型回転台	UCS型 リール用	6,200
RB-1	大型回転台	UCL型 リール用	8,300

【UCS・UCL-O型ホース取付方法】

本体のみお求めいただいた場合、UCS-O型は内径φ6.5×φ10.0、UCL-O型は内径φ8.5×φ12.0のウレタンホースがご使用いただけます。お手持ちのホースをご使用の長さに切断して取り付けてください。

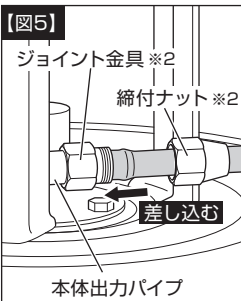
【図4】



【一次側】

一次側はホースガイドスプリング付の締付ナットを取り外します。ホースガイドスプリング側からホースを通しタケノコ部の奥まで差し込んだ後、締付ナットをスパナで締め付けてください。【図4参照】

【図5】



【二次側】

二次側も同様に締付ナットを取り外します。締付ナットにホースを通しジョイント金具をスパナで固定締め付けてください。【図5参照】

！ 本体出力パイプの変形はエア漏れの原因になりますのでご注意ください。